

三〇  
だ此日のある事を知らない。我等は茲に諸君に告げる、諸君は労働に依つて衣食するがその労働に依つて衣食せざる資本家や官僚政治家を我が社会に留まる能はざらしめねばならぬ。我等は聯絡して爲すべき事は土地、田園、工場、機械、原料等を總て我等の主張通りに處分する事である。その時何人が我等を壓服するものぞ。

最後に日本のメーデーを記さう。

大正九年五月一日、我國最初のメーデーは開れた。此日上野公園兩大師前の約一万餘坪の大廣場は、午前十時頃から押し寄せて来る群衆のために處せまき迄に充たされた。そして左の如き宣言、決議が可決された。

吾人は茲に日本最初の労働祭を舉行す。労働祭は労働者の自覺

訓練、團結を表現する祝祭にして、此祝祭の歡喜は労働者のみを知る。吾人は今日、世界萬國の労働者と共に労働者階級の解放と万人の自由とを絶叫す。

吾人は吾國最初の労働祭に於て、現下の我國労働者階級が三個の主要求を有することを發表す。第一は治安警察法第十七條の撤廢、第二は失業の防止、第三は最低賃銀法の設定なり。今や恐慌來り資本家の破綻相繼ぎ、労働者は不合理の犠牲たらんとす。恐慌は資本主義經濟組織の一大特徴也。吾人は敢然として、其餘波の吾人に及ぶを防衛せざるべからず。

労働祭を祝せよ。而して吾人此日の祝祭を意義あらしめよ。

續いて信友會の野村君が喝采裡に左の決議文を朗讀した。